

研究機関名：東北大学

受付番号： 2016-1-462
研究課題名 卵巣高グレード漿液性腺癌の発癌及び早期播種転移に関わるタンパク質発現の研究
研究期間 西暦 2015 年 1 月（倫理委員会承認後）～2018 年 12 月
対象材料 ■病理材料（対象臓器名 卵巣、卵管、腹膜） □生検材料（対象臓器名) □血液材料 □遊離細胞 □その他 ()
上記材料の採取期間 西暦 2005 年 1 月～2014 年 12 月
意義、目的 卵巣癌は婦人科悪性腫瘍の中でも死亡率が高い疾患であり、早期発見、早期治療が望まれるがその発癌過程は不明な点が多い。特に卵巣高グレード漿液性腺癌は早期に腹膜播種転移を起こすこと知られているが、近年の研究からその一部は卵巣ではなく卵管上皮から発生することが示唆されている。本研究は、卵巣高グレード漿液性腺癌及び類似疾患である卵管癌、腹膜癌が卵管から発癌し早期播種転移を起こすまでのメカニズムをタンパク質発現の変化から研究し、将来的に早期発見、早期治療へつながる知見を得ることを目的としている。
方法 手術で摘出され、病理診断用にホルマリン固定、パラフィン包埋状態で保存された検体若しくは凍結保存された検体を用いる。検討対象臓器は卵巣、卵管、腹膜である。事前に、将来の研究への使用に関する包括同意が書面で得られている症例のみを対象とする。 タンパク質発現検討方法は、①免疫組織化学染色 ②Immunoblotting ③real-time PCR の3つを予定している。発現検討予定のタンパク質は先行研究に基づき TP53, Ki67, BRCA1/2, PALB2, γ H2AX, H2AX, Transferrin receptor 1/2, SRC, BRD4, TIE1, TNK2, RAD51, ULK3, GBA1, PI3K, La 蛋白ファミリーである。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学医学部 産科学婦人科学教室 豊島将文、八重樫 伸生 住所：仙台市青葉区星陵町1-1 Tel：022-717-7251 (医局秘書室)